

# 川を遡る者たち

## 第四回

廣嶋玲子 みねおみつ 絵



〈前号のあらすじ〉

アリューシャとコヌンは、源流の悪臭に耐えながら洞窟内を探り、川の水の穢れの原因を突き止める。水を汚していたのは、海の聖霊ディネイの死骸だった。引き揚げたディネイの死骸から生まれ立ての赤ん坊の頭ほどの卵が転がり出た。ディネイの弔いを終え、灰を海に返すことに。帰路の食事中、不意に二人にかぶさってきたものがあつた。

気づいた時には、アリューシャとコヌンは、大きな網の中に閉じこめられていた。慌てて抜け出そうとしたが、網目に指や足がからまり、どんどん身動きがとれなくなる。

「コ、コヌン！」

「アリューシャ！ ナイフで網を切るんだ！」

「だめ！ からまっちゃって！ コヌンは？」